

1 佐久地域

<地域の環境特性>

- ・ 四方を国立・国定公園（上信越高原国立公園・秩父多摩甲斐国立公園・妙義荒船佐久高原国定公園・八ヶ岳中信高原国定公園）に囲まれ、豊かな自然環境が保たれています。

この豊かな自然環境から、国際的な避暑地の軽井沢をはじめ、森林セラピー基地や多くの保健休養地が形成されるとともに、小諸城址や龍岡城五稜郭など様々な史跡や美術館等文化的施設も保存・整備され、高原の観光エリアとして、人々の交流と安らぎの場となっています。

- ・ 千曲川の最上流に位置し、きれいで豊かな流水と地下水に恵まれ、その水はコイ・フナなどの地域資源も育てています。
- ・ 豊かな森林資源にも恵まれていることから、県下最大のカラマツ資源を利用するとともに、オフセット・クレジット*制度による県有林での二酸化炭素吸収量の認証を受けるなど、二酸化炭素の吸収源としての森林の利用も行われています。
- ・ 日照時間の長さを活かした太陽光発電や豊富な水を利用した小水力発電など、自然エネルギーの活用の可能性を有しており、太陽光発電の共同利用事業や家庭への普及の取組が行われています。
- ・ 大気環境については、春から夏にかけての関東地方からの移流による、いわゆる光化学スモッグの原因となっている光化学オキシダントの一時的な上昇を除いて、良好な状況にあります。



千曲川源流（川上村）

<実施施策>

（1）協働で進める自然エネルギー等の普及

- ・ 冷涼で長い日照時間という太陽光発電に有利な立地条件を活かし、大規模施設の誘致や家庭での普及促進を進めます。また、豊かな水資源を活かした小水力発電についても研究を行います。
- ・ 官民が協働し、「1村1自然エネルギープロジェクト」を進め、佐久地域の特性を活かした自然エネルギーの普及や地域づくりを推進します。
- ・ 「環境フェアin佐久」などの種々の催しを通して、自然エネルギーの利用促進や省エネルギーの実践について普及啓発を進めます。



太陽光発電施設（佐久合同庁舎等）

- ・ 林業・木材産業の振興を図るとともに、「森林（もり）の里親制度」やオフセット・クレジット制度の活用を進め、森林づくり県民税による間伐などを促進することにより、二酸化炭素の吸収源としての健全な森林づくりを推進します。
- ・ 資源の保全と活用を両立させ、さらに、循環型社会の確立により、持続可能でエネルギー自給型の「サステイナブル・エコロジーエリア」へと発展させます。



森林の里親契約による間伐作業（南相木村）

（2）高原の保養・観光エリア「佐久」の豊かで美しい自然環境の保全

- ・ 千曲川源流トレッキングや水辺観察会などを通じて、水環境に関する環境学習・保全活動を推進します。
- ・ 恵まれた自然環境や農山村の生活文化などの地域資源を活かした都市と農山村との交流・連携による環境にやさしい新たな地域づくりやライフスタイルを発信します。
- ・ 国立公園をはじめとする優れた自然環境の保全の推進や、自然環境に根ざした伝統文化や農林水産物などの地域資源の活用により、観光の振興に寄与します。
- ・ 地域農産物を活かした地産地消の取組や化学合成農薬・化学肥料を低減する取組を支援し、環境と共生する農業・農村づくりを目指します。
- ・ 住民主体による景観育成住民協定の締結を支援するなど、環境と調和した美しい景観づくりを進めます。

（3）地域の環境リスクへのきめ細かい対応

- ・ 光化学オキシダントの状況について、常時監視を行うとともに、地域への啓発を図り、健康被害の未然防止に努めます。
- ・ 水質汚濁事故を防止するため、工場事業者の排水処理施設の適正な管理を指導するとともに、灯油等の流出防止、農薬の適正使用などを周知・徹底します。
- ・ 不法投棄などの廃棄物の不適正処理を未然に防止できるよう、監視の充実を図るとともに、廃棄物処理施設の適正な維持管理の指導に努めます。

（4）貴重な地域の財産である水資源の保全

- ・ 千曲川の上流域として、森林整備などにより水源涵養^{かん}に努めるとともに、きれいで豊かな流水の保全に取り組みます。
- ・ 市町村と連携・協力し、豊富で良質な地下水の保全に取り組みます。
- ・ 「環境フェア in 佐久」などの種々の催しを通して、清流や地下水が貴重な地域の財産であり、保全していかなければならないことを啓発します。



環境フェア in 佐久